

アイキューブ

i-cube

2008年秋
新しいデザイン
i-cube誕生



それはアイデアの立方体。
サイディングの持つフレキシビリティへの試み。

今までのサイディングのイメージではない、だからこそ逆にサイディングらしいともいえる
テクスチャーを丁寧に研ぎ澄ませていくことで、私たちは一人ひとりの感性に訴えたいと考えました。

impressions inspire your innovations —iがひらめきを変える—

2008年秋、ニチハが新しいサイディングの可能性をご提案します。

(i-cube design team de la Casa)

※詳しくはi-cube専用カタログをご覧ください。

外構コーディネートで差をつける

エクステリアを構成するのは家の形や外壁だけではありません。

花や木、カーブスペース、門柱、門扉や塀も外観イメージに大きな影響を与えます。

家を建てる時、エクステリアは後でと考えるがちですが、同時に考えておけば手間も費用も省けることが多いもの。

ここでは、最近の傾向から見る外構の特徴を7つにまとめました。

外壁選びが終わったら、次は外構も一緒に考えましょう。

写真提供/三協立山アルミ株式会社 撮影協力/有限会社ウィローブールジャパン

KASO HYAKKA STYLE
外構コーディネート

01

曲線・高低差で立体感・奥行きのある外構

塀のライン・門から玄関までのラインなどを曲線にすると、距離感が出てゆったりしたイメージになります。また、敷地状況にもよりますが、門から玄関までの距離がない場合は、アプローチに角度や高低差をつけて奥行き感を演出することができます。



| | |
|---|---|
| 1 | 4 |
| 2 | |
| 3 | |

1. 枕木風古木をゆるやかな曲線と高低差を利用してデザイン。自然を呼び込むアプローチが特徴のナチュラルガーデン。2. 木のフェンスでコーナー部を曲線にすることで、やわらかな印象になりました。3. アプローチの前面に設けた車庫が玄関の目隠しにもなり、ゲートの役割も果たしています。4. 角度や高低をつけたことにより、立体感が際立ち、外観に合わせた清潔感あふれるアプローチに。

02

テイストを揃えた門まわりのデザイン

家の外まわりの印象を決める門扉や門柱ですが、家の外観とデザインやテイストを揃えるだけで、家全体の雰囲気レベルアップすることができます。今や門扉・門柱も豊富なデザインからセレクトできるので、コーディネート幅も広がっています。



| | |
|---|---|
| 1 | 3 |
| | 4 |
| 2 | 5 |

1. ポスト、照明、装飾オブジェが、白を基調としたさわやかなモダンテイストで揃えられています。2. 南欧風に合うデザインを意識し、丸みのある優しいラインが魅力の門柱。手前の花壇もナチュラルな枕木を用いて。3. 和風外観に合わせて、粗削りの石材で門柱をあつらえ、木のフェンスで温かみを出しています。4. スクエアデザインの外壁にそろえて、門柱にも同系色のブロックを積み上げて。5. 門袖や塀の色調と質感を外壁に合わせたエントランス。スクエア小窓と同じように、前面の塀のデザインを統一。 鋳物門扉グランクロス(写真提供/三協立山アルミ株式会社)

03

植栽で飾る外に見せる庭

植栽の役割には大きく分けて2つあります。1つは空間演出のため、もう1つは日射しを遮光する、外からの視線をさえぎるといった実用的な役割です。ここでは、両方の役割をもった、最近流行している「外に見せる庭」をご紹介します。



1

1. 家の外に植栽をしたことで、住人も通行人も楽しめる仕上がりとなりました。塀のように見える下部分を細長くガラス張りにして、中からも緑を眺める仕掛けが思いもよらない演出です。

2

2. 門扉の外に木や植物を植えることで、オープンなイメージと防犯性能を両立できます。
形材門扉 ニューラミーネ3型（写真提供/三協立山アルミ株式会社）

04

照明でデザインする庭

夜の安全確保はもちろん、家を美しく照らし出す照明は、お洒落なアクセントや癒し効果としてかかせない存在となっています。光を効果的に配置することで、昼間と違う夜の表情を演出することができます。



| |
|---|
| 1 |
| 2 |

1. 庭にLEDを埋め込み、ガラスブロックに彫り込んだデザインイラストが光により幻想的に浮かびあがる演出。
2. 夜も楽しめるように置き型ランプを設置したライティングにより、癒し効果も生まれました。
プレオーレ2 (写真提供/三協立山アルミ株式会社)

05

飾る庭から過ごす庭へ(サンルーム・ウッドデッキ)

物価の高騰や先行き不安もあって、家族のきずなや家でゆったり過ごすことの大切さが見直されてきています。リビングと庭をつなげ、庭でのひとときを楽しむためにサンルームやウッドデッキを設ける傾向が増えています。



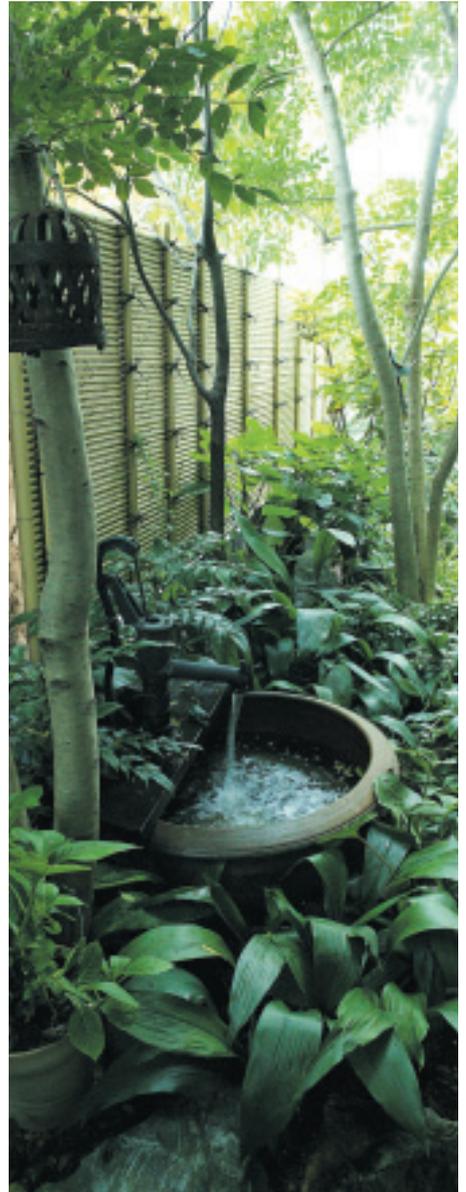
| | |
|---|---|
| 1 | 3 |
| 2 | 4 |

1. 木製のウッドデッキ、チェア、テーブルにより、建物と緑あふれる植栽を自然につなぐ空間となっています。(撮影協力/ウィローブールジャパン) 2. フェンスをつけてセミオープン感覚のウッドデッキに。デッキの明るい茶系は外壁の色味に合わせています。3. 犬と遊ぶために設けた広い芝生を、圧迫感のない木製ルーバーフェンスで囲って。4. 落ち着いた洗練を感じるシックな黒が効いたウッドデッキ。フェンスやパーティションを組み合わせ、和モダン風に仕上げています。人工木デッキ・ルーフひとつと木(写真提供/三協立山アルミ株式会社)

06

水のある風景

水の流れる音、水が反射する光、水に暮らす命、水は人の心を和らげる力を持っています。和のエクステリアにも使えるので、小さなビオトープにしたり、水盤を置いてめだかを飼ったり、さまざまな楽しみ方が増えています。

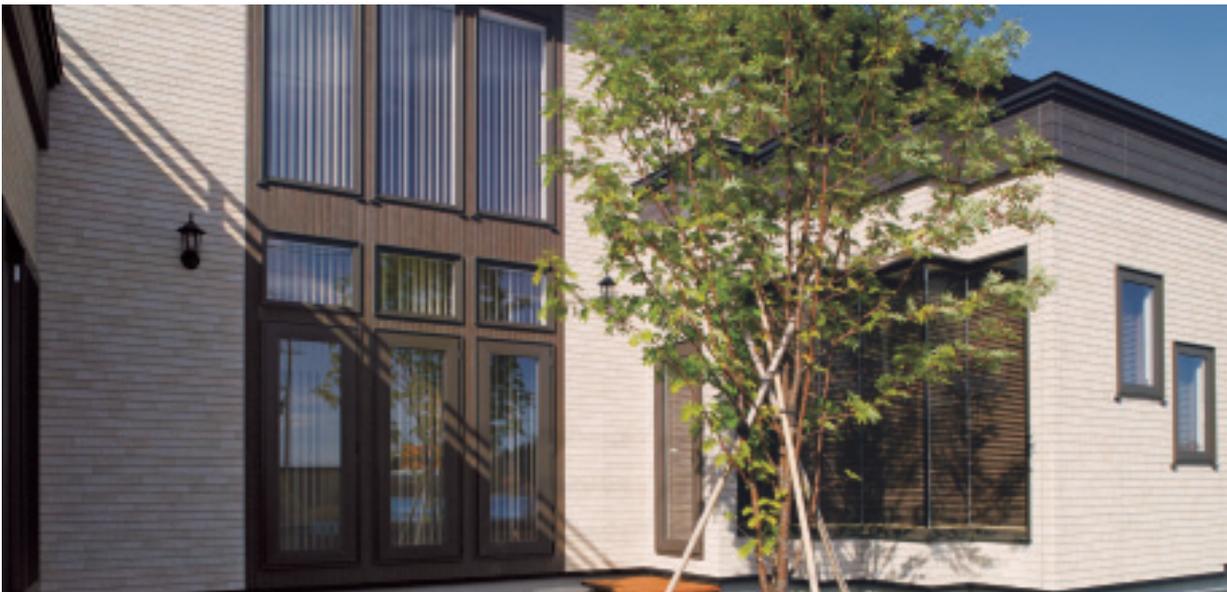


| | |
|---|---|
| 1 | 2 |
|---|---|

1. フォーカスポイント（視線が最も集まる見せ場）に古レンガを積み上げた壁泉を設置してその脇をボーダー（帯状で細長い花壇）で飾ったナチュラルなブリティッシュガーデン。（撮影協力/ウィロープールジャパン）
2. 和風の庭に、湧き水を感じさせる水の流れを取り込むことで、小さな空間に広がりを与えています。限られたスペースでも工夫次第で存在感のある安らぎの空間になります。（撮影協力/ウィロープールジャパン）

07 株立ちのシンボルツリー

住宅スタイルがシンプル化するのに伴い、エクステリアにもシンプルモダンなラインナップが充実してきました。当然植栽もシンプルモダンなイメージが好まれ、シマトネリコやエゴの木、オリーブなど、株立ち(かぶだち。根元から複数の幹が生えている樹形)で葉の色が淡い、やさしい印象の木がよく使われています。



| | |
|---|---|
| 1 | 3 |
| 2 | |

1. 薄緑色のシンボルツリーが、ゆったりと大きな庇が威風堂々とした和風邸宅に美しく映えます。2. 紅葉が美しい落葉高木「ナナカマド」をシンボルツリーに。日差しの強い夏には葉が茂り、日差しが弱くなる冬には葉を落として光線を透過させてくれる落葉樹ならば、季節に応じて日差しをコントロールしてくれます。3. モミジやカエデが1本あるだけでも和のイメージになります。(撮影協力/ウィロープールジャパン)